

柏市第5回在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会概要

名称	柏市 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会
目的	柏市における在宅医療の推進及び多職種連携の促進
主催	柏市医師会, 柏市
共催	柏歯科医師会, 柏市薬剤師会, 柏市訪問看護ステーション連絡会, 柏市介護支援専門員協議会, 柏市在宅リハビリテーション連絡会, 東葛北部在宅栄養士会, 柏市介護サービス事業者協議会
後援	東京大学高齢社会総合研究機構, 東京大学医学部在宅医療学拠点, 国立長寿医療研究センター, ヘルスケアイノベーションプロジェクト(予定)
日程	1日目 : 平成26年2月23日(日) 13:00~18:00(開場 12:30) 2日目 : 平成26年3月16日(日) 9:00~17:00(開場 8:30) 在宅実地研修: 受入機関と個別日程調整を行い2回実施(医師のみ) ※1日目の研修終了後に, 職種を超えた交流を目的とした懇親会を予定しております。
会場	柏地域医療連携センター(柏市豊四季台1丁目1番118号)研修室
参加対象	正規受講者: 柏市内の在宅医療・ケア関係者(開業医, 病院医師, 歯科医師, 薬剤師, 訪問看護師, 病院看護師, 介護支援専門員, 病院ソーシャルワーカー, 理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士, 管理栄養士, 介護サービス事業者, 他) 各職種5名 傍聴者: 各地にて本研修会に類する研修会の開催を予定している郡市医師会関係者, 自治体職員, 等 ※会場の関係により, 予定数を超過した場合にはやむを得ずお断りする場合がございます。何卒ご了承ください。(傍聴者定員: 20名程度)
修了要件	全日程の出席(修了証書を発行) ※上記以外の方には, 受講された単元が記載された受講証明書を発行いたします。
受講費用	無料 ※本研修は, 東京大学高齢社会総合研究機構が開発した研修教材に基づき, 千葉県地域医療再生基金による支援を得て実施されています。 ※2日目のお弁当代, 1日目の懇親会参加費については, 実費負担をいただく予定です。
備考	・本研修会受講者の皆様には, 受講前後の教育効果評価を目的として, アンケートやインタビュー調査へのご協力をお願いすることがあります。何卒ご理解くださいますようお願いいたします。 ・本研修は, 他地域への普及を念頭に置いた汎用教材の作成と, 幅広い層への自習教材の提供等を目的として, 研修風景の撮影を予定しております。そのため, 当日場内にて講義風景を撮影させていただきたく, 何卒ご理解をいただきたく存じます。不都合がございます場合には, 柏市福祉政策室(担当: 小林・横山・梅宮: 電話: 04-7167-1171)までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

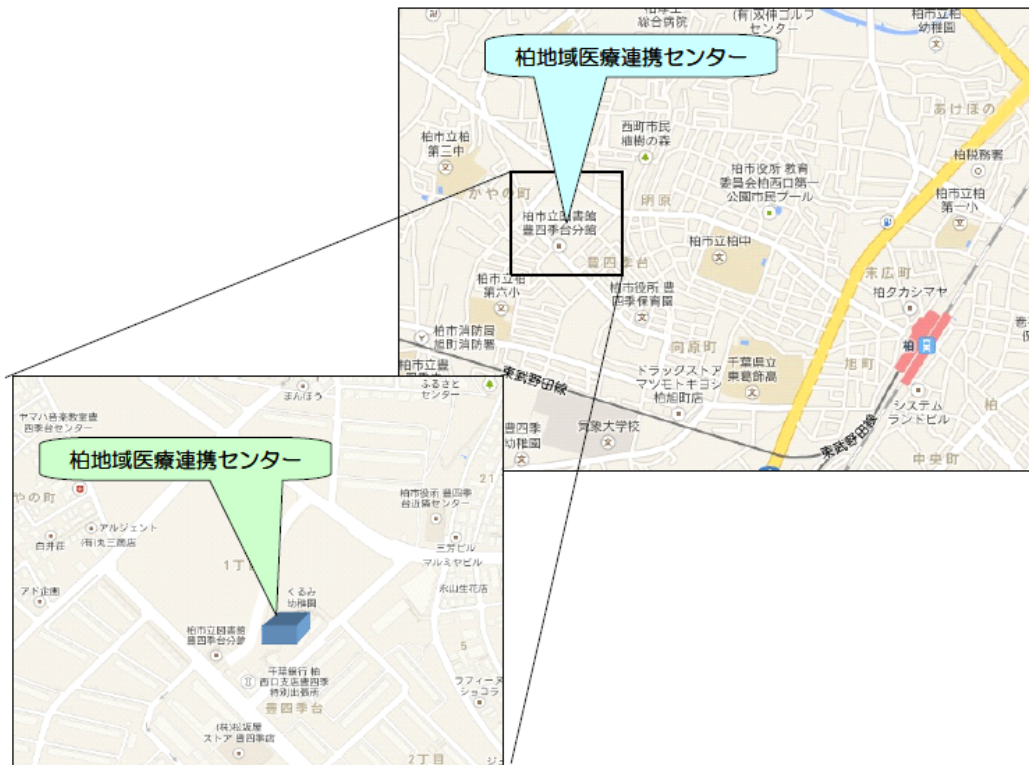
【研修会場】

・ 所在：千葉県柏市豊四季台1丁目1番118号

・ アクセス

バス	常磐線柏駅西口（1番のりば）より，豊四季台循環（01系統）『集会所』下車
タクシー	柏駅西口から約5分
徒歩	柏駅西口から約20分

・ 周辺地図



【タイムテーブル】

1 日目：平成 26 年 2 月 23 日（日）13:00～18:00（開場 12:30）

時刻	タイトル	主な講師	分類	時間
12:30	開場			—
13:00	開会挨拶／趣旨説明	柏 市	他	10 分
13:10	①在宅医療が果たすべき役割	辻 哲夫	講義	30 分
13:40	②在宅ケアにおいて何故 IPW（専門職連携協働）が必要なのか？	古田 達之	講義	20 分
14:00	③在宅医療を支える多職種の役割と連携について	柏 市	他	10 分
	④在宅生活を支える多職種プレゼンテーション	—	他	35 分
14:45	休憩（席替え）			15 分
15:00	⑤グループ内自己紹介タイム	—	他	10 分
15:10	⑥在宅療養における看取り事例	織田 暁寿 桑野 雄介	演習	80 分
16:30	休憩			10 分
16:40	⑦特区の趣旨と概要について	柏 市	講義	15 分
16:55	⑧柏市における訪問リハビリテーションの現状	金井 貴之	講義	30 分
17:25	⑨柏市における在宅での口腔ケア	森山 邦江	講義	15 分
17:40	⑩柏市における訪問栄養指導	田口 厚子	講義	10 分
17:50	1 日目の質疑応答 アンケート記入	—	他	10 分
18:00	懇親会			60 分
19:00	(1 日目終了)			
計				275 分

2日目：平成26年3月16日（日）9:00～17:00（開場8:30）

時刻	タイトル	主な講師	分類	時間
9:00	挨拶	長瀬 慈村	他	5分
9:05	⑪柏市における医療・介護連携モデル	柏 市	講義	20分
9:25	⑫認知症の行動心理徴候（BPSD）の基本的理解	平原佐斗司	講義	40分
10:05	⑬事例検討：認知症の行動心理徴候（BPSD）の基本的理解	平野 清 平原佐斗司	演習	60分
11:05	休憩			10分
11:15	⑭がんの疼痛緩和に必要な知識	濱口 明彦	講義	40分
11:55	⑮事例検討：がんの症状緩和と多職種による在宅療養支援	古賀 友之	演習	60分
12:55	昼食			50分
13:45	⑯在宅医が知っておくべき報酬や制度	平野 清	講義	20分
14:05	⑰グループ討論：在宅医療を推進する上での課題とその解決策	石橋 正樹	演習	75分
15:20	休憩			15分
15:35	⑱修了者が語る訪問診療の実際	原 彰夫	講義	15分
15:50	⑲目標設定：在宅医療の実践に向けて	—	演習	10分
16:00	⑳目標発表と総括	平野 清	他	40分
16:40	アンケート記入	—	他	5分
16:45	修了証書授与	—	他	5分
16:50	閉会挨拶	—	他	5分
16:55	集合写真撮影	—	他	5分
17:00	（終了）	—		
計				405分